



## 第12回 聖路加看護学会学術大会

### ご案内

メインテーマは「少子高齢社会を生きる力、支える力」です。2007年以降、団塊の世代が60歳に達し、わが国の高齢化率は21%を超えようとしています。同時に、出生数が減少し少子高齢化が進みながら、生産年齢人口だけでなく総人口も減少していくという局面に入りました。このような困難な時代だからこそ、いままで以上に、年齢や健康状態にかかわらず一人ひとりの「生きる力」が十分に発揮できるようにすることが重要です。同時に、家族・友人・地域社会において資源や制度を活用したフォーマル、インフォーマルな「支える力」を築いていくことが課題となります。

会長講演「高齢者・家族の生きる力、支える力と看護」では、高齢者と家族のもてる力と、それと共にある看護について考えたいと思います。シンポジウム「少子高齢社会を生き抜く知恵と技」では、3人のお話を通して、私達は看護専門職として、また一人の人間として具体的実践的にどうしたらよいかを討議したいと思います。

会員の皆様には、日ごろの研究や活動成果を、一般演題(口演・示説)、事例検討、交流集会でぜひ発表し、皆様に役立つ学会として学術交流の場をご活用下さい。また本学会の趣旨でもある専門看護実践の向上を意図し、今回はじめての試みとしてGNS(専門看護師)フォーラムを行うことにしましたのでご期待下さい。

この学術大会を明日につなげる機会といたく、多数のご参加をお待ちしております。

学術大会長 太田 喜久子 (慶應義塾大学)

[▲ ページトップへ](#)

### ■ 詳細

日時 : 2007年9月22日(土) 9:30~17:00  
 会場 : 聖路加看護大学  
 東京都中央区明石町10-1  
 交通手段: 営団地下鉄日比谷線 築地駅 徒歩3分  
 営団地下鉄有楽町線 新富町駅 徒歩5分  
 大会長 : 太田喜久子(慶應義塾大学)  
 テーマ : 少子高齢社会を生きる力、支える力

[▲ ページトップへ](#)

### ■ プログラム

#### スケジュール

9:00	9:30	9:35	10:20	10:30	12:00	12:10	12:50	13:15	14:30	14:45	15:00	17:00
受付	学会理事長挨拶	会長講演	休憩	口演	昼食	総会	事例検討	CNSフォーラム		休憩	シンポジウム	
				示説				交流集会				

## 会長講演

アリス C・セントジョン メモリアルホール 9:35 ~ 10:20

「高齢者・家族の生きる力、支える力と看護」

会長 太田 喜久子(慶應義塾大学)

司会 杉本正子氏(東邦大学)

## シンポジウム

アリス C・セントジョン メモリアルホール 15:00 ~ 17:00

「少子高齢社会を生き抜く知恵と技」

司会 井部 俊子氏(聖路加看護大学)

## シンポジスト

惣万佳代子氏(デイケアハウスこのゆびとーまれ)

小宮山 恵美氏(東京都北区高齢福祉課)

得居 みのり氏(兵庫県立姫路循環器病センター)

[▲ ページトップへ](#)

## CNSフォーラム

アリス C・セントジョン メモリアルホール 13:15~14:45

「私たちは専門看護師制度をどう発展させるのか」

司会 及川 郁子 (聖路加看護大学)

野末 聖香 (慶應義塾大学看護医療学部)

## パネリスト

「CNSの機能発揮と成長促進」

鈴木 美枝子 (北里大学病院外来看護係長化学療法センター看護係長)

「CNS教育課程の洗練と教育制度の発展」

井上 智子 (日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程認定委員会委員長)

「専門看護師個人認定の促進と制度の充実」

廣瀬 千也子 (日本看護協会常任理事)

[▲ ページトップへ](#)

## 総会

アリス C・セントジョン メモリアルホール 12:10 ~ 12:50

## 一般演題(口演・示説)

## ■ 口 演

## 【第1群】第I会場 研究発表(301講義室) 10:30~11:15

座長 菱沼 典子(聖路加看護大学)

1. 入院患者の朝の生活の構造  
○ 大橋 久美子 聖路加看護大学大学院博士後期課程
2. 産褥入院中に提供される直接ケア時間-24時間のタイムサンプリングから-  
○ 松永 佳子 東邦大学医学部看護学科
3. 臨床看護師におけるキネステティック概念を応用した体位変換の動きの感覚と認識  
○ 只浦 寛子1) 佐久間 英行2) 徳永 恵子1) 吉田 俊子1)  
1)宮城大学 2)東京医科歯科大学医学部附属病院

## 【第2群】第I会場 研究発表(301講義室) 11:15~12:00

座長 亀井 智子(聖路加看護大学)

4. 百寿者を支える家族による介護の実態  
○ ラウ 優紀子1) 太田 喜久子2) 小西 佳之子3)  
1)慶應義塾大学SFC研究所  
2)慶應義塾大学看護医療学部  
3)元慶應義塾大学看護医療学部
5. 重症心身障害のある子どもの育児の力を見いだす父親の体験  
○ 田中 美央 自治医科大学看護学部
6. 児童虐待防止に関する関係職種の教育的ニーズ-沖縄県離島の場合-  
○ 山城 五月1) 前田 和子1) 沼口 知恵子2)  
1)沖縄県立看護大学 2)茨城県立医療大学

## 【第3群】第II会場 研究発表(302講義室) 10:30~11:15

座長 野村 美香(聖路加看護大学)

7. 否認を身体症状で表した患者への関わりで生じた、患者-看護師双方の無力感と疲労感  
-身体表現性障害と診断されたがん患者との面接過程の分析-  
瀬尾 千晶 静岡県立静岡がんセンター
8. 代謝循環器系外来患者の飲酒・喫煙習慣のアデクションへの影響  
-乳酸脱水素酵素や糖代謝能とQOLの関係から-  
○ 関 美奈子 国際医療福祉大学大学院博士程
9. 血液透析療法を受けて生活している慢性腎不全患者の気持ち  
-『私を保ちたい気持ち』に焦点をあてて-  
○ 森田 夏実 慶應義塾大学看護医療学部

## 【第4群】第II会場 研究発表(302講義室) 11:15~12:00

座長 田中 美恵子(東京女子医科大学)

10. CNS看護教育の日米比較-高度看護実践教育の探索-  
○ 野地 有子1) 柿川 房子1) 粟生田 友子1) 直成 洋子1) 岡村 典子1) 長瀬 亜岐1)  
1)新潟県立看護大学
11. 11 看護師長が認識する医療事故発生後の看護師・看護チームへの精神的支援と課題  
○ 福田 紀子  
慶應義塾大学大学院博士課程
12. 精神障害者の地域生活促進のためのAssertive Community Treatment(ACT)の介入プロトコールとその評価に関する研究  
-精神看護専門看護師と多職種チームとの連携と課題-  
○ 宇佐美 しおり1) 野末 聖香2)  
1)熊本大学医学部保健学科精神看護学 2)慶應義塾大学看護医療学部

## ■ 示 説

掲 示 9:30~15:00

## 【第5群】第III会場 研究発表(2階ラウンジ) 10:30~11:00

13. 5歳児を対象とした「からだの仕組み」についての健康教育プログラム開発のプロセス[実践報告]  
○ 佐居 由美1) 菱沼 典子1) 松谷 美和子1) 中山 久子1) 有森 直子1) 田代 順子1)  
大久保 暢子1) 石本 亜希子1) 山崎 好美2) 瀬戸山 陽子3) 岩辺 京子4)  
島田 多佳子5) 今井 敏子7) 村松 純子7)  
1)聖路加看護大学 2)前聖路加看護大学 3)東京大学大学院医学系研究科健康社会学 4)聖路加看護大学非常勤講師学校保健 5)聖路加看護大学大学院博士課程 6)東洋英和女学院小学部養護教諭 7)“Baby in Me”
14. 看護大学が提供する市民への健康講座の実施状況と参加者の反応  
○ 高橋 恵子1) 菱沼 典子2) 石川 道子3) 松本 直子2) 金澤 淳子2)  
大久保 菜穂子3) 内田 千佳子1) 鈴木 久美4) 印東 桂子5)

- 1)聖路加看護大学COE研究員 2)聖路加看護大学 3)聖路加健康ナビスポット 4)兵庫医療大学 5)聖路加看護大学大学院
15. 多世代交流型デイプログラムの実践的開発とLogic Modellによる分析  
 ○ 亀井 智子1) 梶井 文子1) 糸井 和佳1) 川上 千春2) 杉本 知子3) 長谷川 真澄3)  
 1)聖路加看護大学 2)聖路加看護大学COE研究員 3)聖路加看護大学大学院

【第6群】第Ⅲ会場 研究発表(2階ラウンジ) 11:00~11:30

16. 新人看護師への移行演習プログラムの試行と評価(1)  
 -コミュニケーションスキル習得のための演習-  
 ○ 松崎 直子1) 桃井 雅子2) 佐居 由美2) 平林 優子2) 松谷 美和子2) 村上 好恵1) 高屋 尚子3) 飯田 正子3)  
 西野 理英3) 寺田 麻子3)  
 1)前聖路加看護大学 2)聖路加看護大学 3)聖路加国際病院
17. 新人看護師への移行演習プログラムの試行と評価(2)  
 -状況設定の中での与薬の基本演習-  
 ○ 村上 好恵1) 平林 優子2) 飯田 正子3) 松谷 美和子2) 佐居 由美2)  
 桃井 雅子2) 松崎 直子1) 高屋 尚子3) 西野 理英3) 寺田 麻子3)  
 1)前聖路加看護大学 2)聖路加看護大学 3)聖路加国際病院
18. 新人看護師への移行演習プログラムの試行と評価(3)  
 -多重課題シナリオによる演習-  
 ○ 寺田 麻子1) 西野 理英1) 高屋 尚子1) 飯田 正子1) 佐藤 エキ子1)  
 松谷 美和子2) 桃井 雅子2) 佐居 由美2) 平林 優子2) 松崎 直子3) 村上 好恵3)  
 1)聖路加国際病院 2)聖路加看護大学 3)前聖路加看護大学
19. 日韓看護大学生の認識する入院患者における家族と看護師のケア役割の範囲  
 ○ 春日 美穂1) 中山 和弘2) 1)聖路加国際病院 2)聖路加看護大学

【第7群】第Ⅲ会場 研究発表(2階ラウンジ) 11:30~12:00

20. 在宅摂食・嚥下障害者の誤嚥予防における家族の働きとケアマネジメントの現状  
 ○ 糸井 和佳 聖路加看護大学
21. 在宅ターミナル期患者の家族が患者にアロマセラピーを行うことによる満足感の検討  
 ○ 五十嵐 由理香1) 大久保 暢子2) 1)聖路加国際病院 2)聖路加看護大学
22. Program Action-Logic Modellによる認知症地域ケアシンポジウムの評価  
 -高齢者主導型ケアの創設に関する地域ケアの分析-  
 ○ 川上 千春1) 亀井 智子2) 梶井 文子2) 山田 艶子3) 杉本 知子4)  
 1)聖路加看護大学COE研究員 2)聖路加看護大学 3)前聖路加看護大学 4)聖路加看護大学大学院
23. 大学のアウトリーチ活動としての「高齢者のためのフットケア講座」の実施と評価  
 ○ 梶井 文子1) 亀井 智子1) 山田 艶子2) 川上 千春3) 杉本 知子4)  
 1)聖路加看護大学 2)前聖路加看護大学 3)聖路加看護大学COE研究員 4)聖路加看護大学大学院

【第8群】第Ⅲ会場 研究発表(2階ラウンジ) 10:30~11:00

24. 世界のコンドーム価格とHIV罹患率  
 ○ 長松 康子1) 宮口 萌2) 大山 季恵2) 原 端恵2) 佐々木 空美3) 柳田 美智子3)  
 仙波 百合香4)  
 1)聖路加看護大学 2)聖路加国際病院 3)東京大学医学部附属病院 4)聖路加看護大学大学院
25. タイ国の精神医療におけるタイ仏教の役割について  
 ○ 大山 季恵1) 長松 康子2) 1)聖路加国際病院 2)聖路加看護大学
26. 幼稚園児を持つ在日外国人母親が直面する育児困難と期待される支援  
 ○ 仙波 百合香1) 長松 康子2) 1)聖路加看護大学大学院 2)聖路加看護大学
27. タイ都市部スラムにおけるヘルスポランティア活動と直面する困難  
 ○ 柳田 美智子1) 長松 康子2) 1)東京大学医学部附属病院 2)聖路加看護大学

【事例検討1】第Ⅳ会場 (401講義室) 13:15~14:30

28. 高齢者の家族介護力を引き出すアプローチ  
 ○ 秋山 正子 田中 信子 佐々木 絵美(株)ケアーズ 白十字訪問看護ステーション

【事例検討2】第Ⅴ会場 (404講義室) 13:15~14:30

29. DVIにより夫から離れる決断をした在日外国人妊婦の事例  
 ○ 林田 幸子1) 片岡 弥恵子2) 1)大森赤十字病院 2)聖路加看護大学

【交流集会】第Ⅱ会場 (302講義室) 13:15~14:30

30. 聖路加看護学会における研究のグローバル化に向けてⅡ:読みやすい英文抄録の書き方

田代 順子1) 木下 幸代2) 園城寺 康子3)

1)聖路加看護学会理事長 2)聖路加看護学会編集委員長 3)聖路加看護大学非常勤講師

## 【学術交流ひろば】第Ⅲ会場(2階ラウンジ) 9:30～15:00

聖路加看護学会は、看護実践者および研究者がお互いに学術交流を深めながら、一体となって看護実践の向上をめざした研究を進めること、さらには社会の健康と福祉に貢献することを目的として活動しています。

そこで、聖路加看護学会と密に関連のあるところが一堂に集まり、多くの学会員の学術的研鑽をはかるために自由な情報発信と情報交流をめざしたひろばです。

[▲ ページトップへ](#)

## ■ 一般演題ならびに交流集会/事例検討テーマ募集要項

### ※演題申し込み締め切り延長のおしらせ

演題申し込み締切は4月23日(月)から5月9日(水)に延長されました。

#### 1. 申し込み資格

演題を申し込まれる方は、共同研究者も含めて本学会の会員、または入会手続き中の方であることを要します。注) 演題は未発表のものに限ります。

#### 2. 演題申し込み方法

手続きは、①演題/テーマ申し込み→事務局から受理通知→②抄録原稿提出となります。また、今回はweb上での抄録投稿(電子投稿)も受け付けます。

下記の注意事項を良くお読みになり、お申し込み下さい。

#### <演題/テーマ申し込み締切日>:

**5月9日(水) 必着**にて演題申し込み書をダウンロードし確認の上、E-mail、FAXもしくは郵便で学術大会事務局へ送ってください。

演題申し込み書のダウンロード

WORD形式:25KB | PDF形式:19KB

#### <抄録原稿提出>:

2007年5月21日(月)必着にて、受理通知に掲載されている抄録投稿用URLにアクセスして電子投稿するか、以下より抄録原稿作成要領をダウンロードし、所定の様式にて E-mailもしくはデジタルデータ(FDD・CD-ROM)の郵送にて投稿して下さい。

抄録原稿作成要領のダウンロード

WORD形式:33KB | PDF形式:21KB

#### <演題申し込み先>

〒252-8530 神奈川県藤沢市遠藤4411  
慶應義塾大学看護医療学部 太田研究室内  
第12回聖路加看護学会学術大会 事務局  
FAX: 0466-49-6254  
E-mail: slnr12@sfc.keio.ac.jp

### 【重要】第12回学術大会:演題申し込みをされた方へ【重要】

このたびは第12回学術大会に演題をお申し込み頂きありがとうございました。

「演題申し込み書」をお送り頂いた発表者の方には、メールもしくは郵送にて「演題受理通知」をお送りしておりますが、まだお手元に届いていらっしゃらない方は大変お手数ですが、至急、学術大会事務局までご連絡頂きたくお願い申し上げます。

なお、抄録の締め切りは5月21日(月)となっておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

### 3. 発表形式

#### <一般演題>

口演…発表10分、質疑応答5分

示説…掲示および所定時間帯の質疑応答

#### <交流集会/事例検討>

持ち時間75分

- 一般演題については査読を行います。
- 発表にはPCプロジェクターが使用できます。当日の配付資料がある場合は、発表者が準備して下さい。
- 交流集会、事例検討については、応募が多数になった場合には先着順で採用とさせていただきます。予めご了承ください。

[▲ ページトップへ](#)

## ■ 学会参加について

### 申し込み方法

参加ご希望の方は、下記の口座に参加費をお振り込みください。振込み用紙は、1人1枚ずつ使用し、該当事項を記入してください(会員の方は会員番号の記入をお願いします)。  
事前申し込みは、2007年8月10日(金)まで受け付けております。

学会員	3,500円(当日参加 4,000円)
学会員(大学院生)	2,500円(当日参加 3,000円)
非学会員	4,500円(当日参加 5,000円)
非学会員(学部生)	2,000円(当日参加 2,000円)

### 郵便振り込み先

口座番号 00290-7-133060  
加入者名 第12回聖路加看護学会学術大会

領収書は、郵便振込票をもってかえさせていただきます。  
聖路加看護学会への入会、会員番号問い合わせ、年会費の払い込みに関しては、**聖路加看護学会本部**(※)までお問い合わせ下さい。

注)学術大会申し込みと、聖路加看護学会への入会、年会費の払込先は異なりますのでお間違いのないようお願い致します。

※聖路加看護学会本部  
〒104-0044 東京都中央区明石町10-1 聖路加看護大学内  
TEL:03(3443)6391 / FAX:03(5565)1626

### 会場の案内



聖路加看護大学 東京都中央区明石町10-1

#### 交通機関

##### 【営団地下鉄】

- 日比谷線 築地駅下車 徒歩3分
- 有楽町線 新富町駅下車 徒歩5分

##### 【バス】

- 東京駅八重洲口 深川車庫行き 聖路加病院前下車 徒歩2分

大会事務局：  
〒252-8530 神奈川県藤沢市遠藤4411  
慶應義塾大学看護医療学部 太田研究室内  
第12回聖路加看護学会学術大会 事務局

お問い合わせ：FAX:0466-49-6254 E-mail:slnr12@sfc.keio.ac.jp

[▲ ページトップへ](#)

#### ■ その他

昼食は各自ご用意下さい。  
プログラムは6月下旬頃に送付しますが、講演集は学会当日お渡します。

[▲ ページトップへ](#)

[学会について](#) | [入会案内](#) | [お問合せ](#) | [よくある質問](#) | [学術大会](#) | [ニュースレター](#) | [学会誌](#)

St. Luke's Society for Nursing Research | [サイトマップ](#)